

有害鳥獣対策

問 対策の改善について

本市における有害鳥獣による農作物等の被害は増加傾向にあり、その対策に大変苦慮しています。

答

平成22年度における捕獲状況については、3回の特別許可を出し、補助金総額もこれまで最高の1、462万6、000円に上っています。今年度においては、イノシシ、カラスのほか、ハクビシン、ニホンザル、ニホンジカについても駆除の対象としています。さらに、イノシシの捕獲檻を猟友会の各支部に配備し、県



イノシシの捕獲檻

河川の浄化対策

問 河川環境改善について

市内を流れる幾つかの小河川等については、

答

渇水期にもある程度の水深や流速を確保するため、断面の小さな水路を河川等の中に複断面として人工的に設置し流れをつくるというもので、新谷の久保川やJA愛媛たいき裏の古川は愛媛県がこの工法により整備をされています。当市においても、菅田の朝日地区を流れる排水路において現在同様の工法による整備を進めており、生活環境の改善に努めています。

なお、田口、徳森を流れる都谷川は、河川底もコンクリートで施工されており、渇水期においてもある程度の流量と流速が確保されています。しかし、当河川では気温の高い時期には特に悪臭が発生しているのも事実ですが、公共下水道が進捗するまでは当面従来どおりの清掃や浚渫、除草等での維持管理を考えています。一方、市では合併処理浄

田口・徳森を流れる都谷川



においては早急な接続をお願いするとともに、これらを連携しながら効率的に進めていきたいと考えています。

山鳥坂ダム

問 生活再建などの対策事業について

答

山鳥坂ダム建設事業の水源地域である岩谷地区においては、地域が苦渋の決断によりダム建設を受け入れたにも関わらず、関係者にとっては約30年の長きわたり苦しい思いをされ、大変厳しい生活を強いられています。また、地域の重要な生活基盤道路でもあり基幹道路である県道小田河辺大洲線においても、長年にわたり不便を強いられています。市としては、付け替え道路の事業推進について、国、県に対し要望してきており、このような状況を踏まえ、愛媛県では今年度から現在の県道の維持管理費用を別枠で確保され、きめ細かな維持管理に努めていただいています。なお、山鳥坂ダム事業については四国地方整備局主体による「関係地方公共団